

せいしょ じ だい まち 聖書時代の 町 : ウルの まち



せいしょ そうせい き で くる ウルは、ユーフラテス川の 河口近くに 位置していた
 古代メソポタミアの 都市で、現代のイラクに ありました。ウルの ジググラト¹
 遺跡は、今でも 見ることができます。

ウルの まち、聖書時代の 父祖アブラム（アブラム）の 生まれ故郷で、
 アブラムは カナン²の 地に 移り住むために、ウルの まちを 出ました。
 （アブラムは、ヘブライ人の 祖先です。）

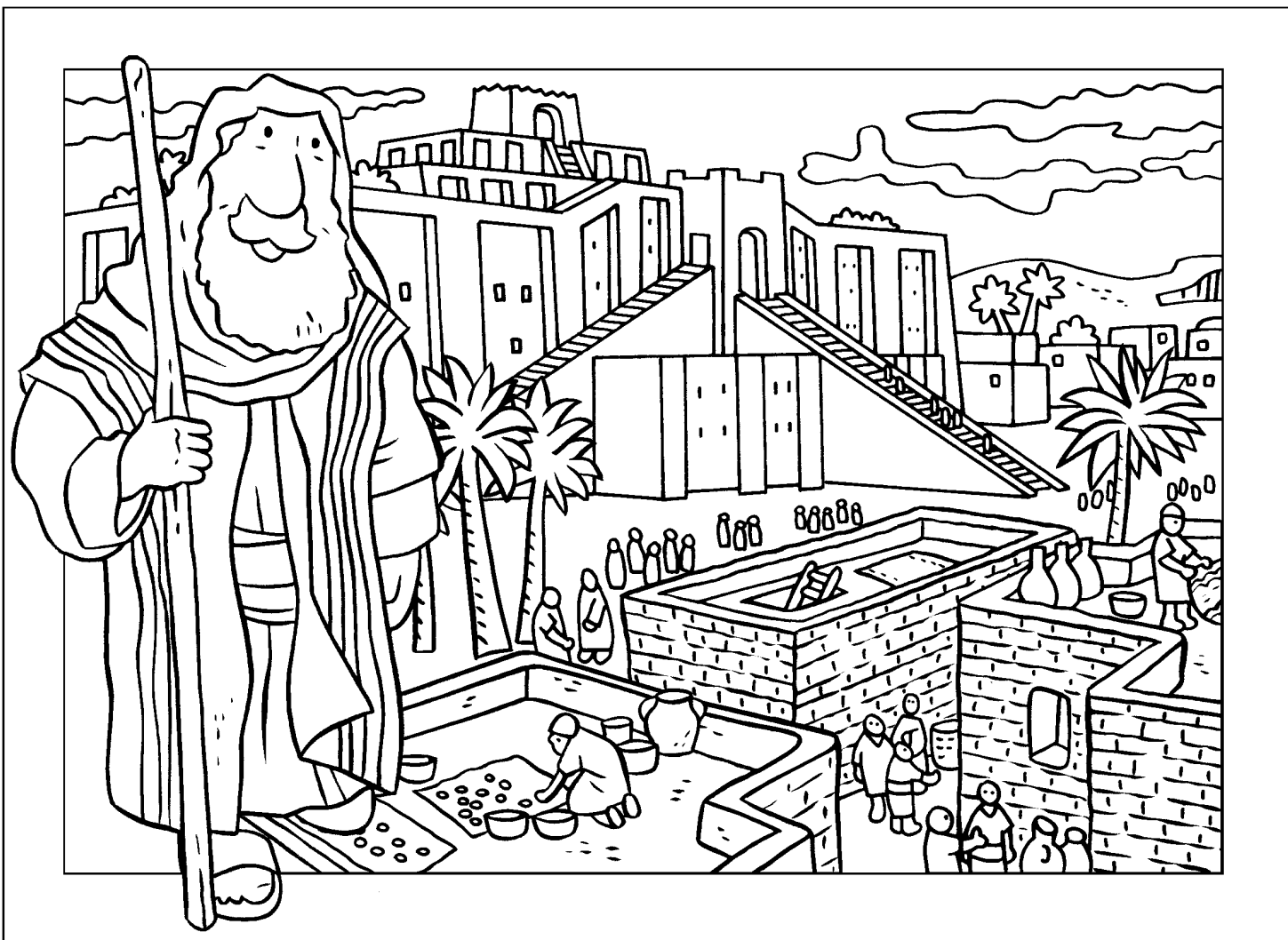
「テラは、アブラム³、ナホル、ハランの 父親で、ハランは ロトの 父親でした。
 ハランは、父親のテラに 先立って、その 生まれた 地、カルデアのウルで 死にました。

アブラムは サライ⁴と 結婚しましたが、長い間、子供が できませんでした。

テラは、息子アブラムと、義理の 娘サライと、孫の ロトを 連れて、カナンの 地へ
 行こうと カルデアのウルを 出しましたが、途中の ハラン⁵まで 行って、そこに
 住み着きました。」⁶

きやくちゅう 脚注

- ジググラトは、数階層から 成る 四角錐の 塔。
- 旧約聖書時代の カナンの 地には、現代のレバノン、シリア、ヨルダン、それにイスラエルが 含まれる。
- アブラムは 最初、アブラムという 名前だった。
- サラは 最初、サライという 名前だった。
- ハラン遺跡は、現代のトルコに あります。
- 創世記 第11章27-31節を 参照。



せいしょじだい まち 聖書時代の町：ウルのまち



せいしょ そうせい き で くる ウルは、ユーフラテス川の 河口近くに 位置していた
古代メソポタミアの 都市で、現代の イラクにありました。ウルの ジググラト¹
遺跡は、今でも 見ることができます。

ウルの 町は、聖書時代の 父祖アブラム（アブラム）の 生まれ故郷で、
アブラムは カナン²の 地に 移り住むために、ウルの 町を 出ました。
（アブラムは、ヘブライ人の 祖先です。）

「テラは、アブラム³、ナホル、ハランの 父親で、ハランは ロトの 父親でした。
ハランは、父親のテラに 先立って、その 生まれた 地、カルデヤのウルで 死にました。

アブラムは サライ⁴と 結婚しましたが、長い間、子供が できませんでした。

テラは、息子アブラムと、義理の娘サライと、孫の ロトを 連れて、カナンの 地へ
行こうと カルデヤのウルを 出しましたが、途中の ハラン⁵まで 行って、そこに
住み着きました。」⁶

きゃくちゅう 脚注

- ジググラトは、数階層から 成る 四角錐の 塔。
- 旧約聖書時代の カナンの 地には、現代の レバノン、シリア、ヨルダン、それに イスラエルが 含まれる。
- アブラムは 最初、アブラムという 名前だった。
- サラは 最初、サライという 名前だった。
- ハラン遺跡は、現代の トルコに あります。
- 創世記 第11章27-31節を 参照。